



やなぎっ子

さいたま市立片柳小学校

TEL 048-683-3174

FAX 048-683-8971

<http://katayanagi-e.saitama-city.ed.jp/>

「かかわり」に感謝

校長 萩原 哲哉

慌ただしい時間を過ごしている中で、ふと、手帳を見る回数が減ったことに気がきました。明日の予定や来客、来週の行事、締め切りのある作業、……。5月の手帳(予定表)は取り消し線ばかりとなり、現時点で確定している予定がほとんどなくなっています。このようなことはもちろん初めての経験で、今さらながら、今回のウイルス禍の影響の強さを感じ入りました。

それでもありがたいのは、季節が「明るい季節」に向かっていることで、気持ちがいささかでも前向きになれることです。日の出時間は早まり、真っ青な空ではじまる朝が多くなり、桜のあとはハナミズキ。大型連休の声が聞こえてくると、ツツジの花が目につくようになります。花のうつろいに、元気をもらっている思いがいたします。

頭で理解していても、実際に経験してみないと本当のところはわからない、とよく言われます。今回の臨時休校の中でもたくさんの方に気づかされました。

その中の一つが、「笑い」。人と出会うことが少なくなった状況の中で、「笑い」に出会うことが少なくなった・限られたものになったことに、気づきます。もちろん、日常の中で、文章や映像などにふっと笑ってしまう場面はありますし、職場や家庭生活の中でもちょっとした笑いは存在します。でも、それは限られた状況・場面の中でのこと。やはり、人は人とかかわりの中で、笑顔になることができ、その笑顔が活力になっているということなのでしょう。「人は、人によって生かされ、活かされている」ということばを実感しました。

当たり前だったものがなくなると、そのものの価値がわかり、そのものに感謝するようになります。一時期のトイレットペーパーやマスクが、まさにそれです。人とかかわりをもつことができること、そしてそのかかわりの中で「笑顔・笑い」というエネルギーをもらっていたことに感謝し、現在の状況が収まったあと、より多くの関わりを大切にすることを、子どもたちにも伝えていきたいと考えています。

今少し、制限のある状況が続きそうですが、御家族の皆様方共々、御自愛下さい。